

2025年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月14日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括本部長 (氏名) 磯野 健治 TEL 078-822-5000
 定時株主総会開催予定日 2025年4月25日 配当支払開始予定日 2025年4月28日
 有価証券報告書提出予定日 2025年4月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期の連結業績 (2024年2月1日～2025年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	36,017	3.1	2,058	△16.8	2,098	△16.7	1,414	△17.5
2024年1月期	34,933	7.5	2,474	2.1	2,517	△3.7	1,715	0.7

(注) 包括利益 2025年1月期 1,480百万円 (△18.0%) 2024年1月期 1,804百万円 (14.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年1月期	68.85	—	7.2	7.8	5.7
2024年1月期	81.55	—	9.0	9.2	7.1

(参考) 持分法投資損益 2025年1月期 ー百万円 2024年1月期 ー百万円

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	25,591	19,483	76.1	964.01
2024年1月期	27,919	19,719	70.6	950.26

(参考) 自己資本 2025年1月期 19,483百万円 2024年1月期 19,719百万円

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算出しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月期	△618	△622	△1,822	3,594
2024年1月期	2,117	△456	△1,011	6,640

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年1月期	—	0.00	—	98.00	98.00	677	40.1	3.6
2025年1月期	—	35.00	—	47.00	82.00	558	39.7	2.9
2026年1月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00		50.5	

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年1月期および2025年1月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。2026年1月期(予想)については、当該株式分割後の配当額を記載しております。

3. 2026年1月期の連結業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,300	△1.0	330	△54.6	360	△51.9	140	△71.2	6.81
通期	36,050	0.1	1,020	△50.5	1,070	△49.0	570	△59.7	27.73

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年1月期	21,265,356株	2024年1月期	21,265,356株
2025年1月期	1,054,635株	2024年1月期	513,351株
2025年1月期	20,551,802株	2024年1月期	21,039,516株

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年1月期の個別業績 (2024年2月1日~2025年1月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期	34,373	2.0	1,880	△24.6	1,979	△23.2	1,323	△26.7
2024年1月期	33,698	6.4	2,493	0.3	2,577	△3.3	1,806	7.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期	64.38	—
2024年1月期	85.86	—

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期	25,469	19,495	76.5	964.62
2024年1月期	27,974	19,914	71.2	959.64

(参考) 自己資本 2025年1月期 19,495百万円 2024年1月期 19,914百万円

(注) 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算出しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料の入手方法について

決算補足説明資料は同日当社ホームページに掲載いたします。

また、当社は2025年3月25日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、事前に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(収益認識関係)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 役員の異動	17
(2) 補足情報	17

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価上昇による消費マインドの停滞や不安定な世界情勢など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガン『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供することに注力しました。

売上面につきましては、物価高騰による買い控えも見られましたが、バレンタインデーやホワイトデーなどのイベント商戦が好調に推移したことに加え、2023年に卵の供給制限により不足した商品を例年どおりに展開できたことなどもあり、当連結会計年度の売上高は36,017百万円（前期比3.1%増）となりました。

損益面につきましては、増収に加え、店舗や工場の人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組んだものの、カカオを中心とした原材料価格の急激な上昇や、賃金の引上げによる人件費の増加、輸送費用の上昇や船橋物流センター移転に伴う諸費用計上などにより、営業利益は2,058百万円（前期比16.8%減）、経常利益は2,098百万円（前期比16.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,414百万円（前期比17.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、経済活動の正常化により需要が活性化したことで、バレンタインデーやホワイトデーの商品に加え、テーマパーク向けの商品なども好調に推移しました。また、2023年に卵の供給制限により不足していた「フェアージュ」につきましても、2024年には例年どおりに展開できたことや、バターにこだわった焼菓子ブランド「ガレット オ ブール」の売上貢献もあり、売上高は順調に推移しました。

洋生菓子につきましては、発売55周年を迎えたチーズケーキは記念商品の発売などにより好調に推移しましたが、物価上昇に伴うデザート類の買い控えもみられ、プリンやゼリーなどのチルドデザート、フィナンシェなどの半生菓子は前期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は34,039百万円（前期比3.0%増）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、人流の増加に加え、メニューの改変等により売上拡大を図った結果、売上高は1,977百万円（前期比5.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,328百万円減少し、25,591百万円となりました。資産の増減の主なものは、退職給付に係る資産の増加額487百万円、商品及び製品の増加額227百万円、現金及び預金の減少額2,536百万円、有形固定資産の減少額493百万円、投資有価証券の減少額221百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ2,092百万円減少し、6,107百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額1,656百万円、未払法人税等の減少額338百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ236百万円減少し、19,483百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額494百万円、自己株式の取得による減少額798百万円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,046百万円減少し、当連結会計年度末には3,594百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上、減価償却費の計上、仕入債務の減少、投資有価証券売却益の計上、退職給付に係る資産の増加、法人税等の支払額等により、618百万円の支出（前連結会計年度は2,117百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入、有価証券の売却及び償還による収入、投資有価証券の売却による収入、定期預金の預入による支出、有価証券の取得による支出、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、622百万円の支出（前連結会計年度は456百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の増加、配当金の支払等により、1,822百万円の支出（前連結会計年度は1,011百万円の支出）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標

	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期
自己資本比率 (%)	69.9	70.6	76.1
時価ベース自己資本比率 (%)	89.2	100.0	129.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.8	0.8	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	85.0	88.4	—

(注) 自己資本比率＝自己資本／総資産

時価ベース自己資本比率＝株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ＝営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
2. 営業キャッシュ・フロー及び利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額を使用しております。
3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。
4. 2025年1月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く環境は、売上面におきましては、少子高齢化や人口減少、地方や郊外百貨店の店舗閉鎖、バレンタインや中元、歳暮などのフォーマルギフト市場の縮小が想定されます。また、カカオを中心として原材料価格が大幅に上昇を続けており、電気・ガス等のエネルギーや物流のコストも増加しており、売上原価率は上昇を続けております。人員面では、賃金の引き上げや人手不足による人件費の上昇が今後も続くものと思われま。一方、生産設備面でも、工場の老朽化対策に加えて、生産能力や生産性向上のための建替えや更新のための投資が必要となっております。

このような状況を踏まえて、中長期ビジョンとして「企業価値の向上」「ブランド価値の向上」「社会的価値の向上」を掲げて、2024年1月期から中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」を進めております。

このビジョンを達成するために、①新たな「成長戦略」の実現、②コスト抑制とさらなる生産性向上、③人材確保と従業員満足度向上、を中長期戦略テーマとして取り組んでまいります。

まず、最初のテーマである「新たな『成長戦略』の実現」を図るために、焼菓子による新たな価値と市場を創造し、成長基盤をつくってまいります。焼菓子はパーソナルやカジュアルギフトに適しており、気候や季節に左右されず年間を通じて販売可能です。また、当社が強みとしている設備や技術により商品開発や生産が可能であり、当社グループの強みを活かすことができます。

この新たな「成長戦略」を実現していくために、「商品・ブランド戦略」「市場戦略」「生産・物流戦略」の3つの戦略を連係させて推進いたします。

① 商品・ブランド戦略

新しい焼菓子の定番商品や希少性の高い新プロダクトブランドを開発するとともに、新たなマーケットを創造し、ブランド価値の向上と成長基盤の強化を図ります。

② 市場戦略

商品・ブランド戦略で開発された新たな商品・ブランドにより新プロダクトブランド店舗を拡大するとともに、エリア限定商品の投入により新たな市場を開拓いたします。また、相手先企業保有コンテンツの活用によるOEM、ODM、アライアンス等により、B to B ビジネスを進めることで販売機会と利益の創出を図ります。

③ 生産・物流戦略

商品・ブランド戦略および市場戦略に柔軟に対応できるよう、船橋工場の建替えや西神工場の改修を進めるとともに、焼菓子製造ラインの新設や設備の強化による増産体制の確立を図り、安定した焼菓子の供給体制を確立いたします。また物流戦略では、安定した物流体制の確立を目指し、新たに神戸物流センターを設置するとともに、船橋工場に隣接した船橋物流センターに代えて船橋西浦物流センターを設けました。

2つ目のテーマである「コスト抑制とさらなる生産性の向上」を図るため、店舗運営の効率化を進めるとともに、工場では設備の自動化や省人化を図ってまいります。

店舗運営の効率化推進につきましては、既存店舗の運営方法を見直すことで、店舗のローコストオペレーション化を図るとともに、お客様にとっても、見やすく、選びやすく、買いやすい店舗スタイルに転換してまいります。

また、生産面では、工場の建替えや改修にあわせて生産ラインを見直し、自動化設備を強化することにより、生産能力の増強と省人化を図り、さらなる生産性の向上に繋げてまいります。

3つ目のテーマは「人材確保と従業員満足度向上」です。人事面の課題としては、管理職層の定年退職と中堅層の人材不足、生産や販売現場での従業員の採用難、女性社員の活躍促進などがあります。これらの課題を解決するために、「人的資本」を意識した、人材の確保と社員満足度向上のための投資と制度見直しを進めてまいります。

また、企業価値向上に向け、中期経営計画9年間（Step1～Step3）におけるトータルでのフリーキャッシュ・フローの配分方針に基づき戦略的設備投資、人的資本投資および株主還元適切に分配してまいります。サステナビリティへの取り組みとしては、サステナビリティ委員会を設置し、ガバナンスおよびリスク管理体制の再構築を図るとともに、気候変動への取り組み強化や人的資本に関する戦略および目標を設定し、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

時代に即したお客様接点を創造し、お客様に提供する新たな価値を創造することで、未来につながる経営基盤を築くとともに、新たな成長戦略を講じて、景気変動や環境変化に左右されない、安定した収益の確保とサステナビリティの実現を目指してまいります。

2026年1月期につきましては、新焼菓子ブランドの出店による売上増などが見込まれるものの、物価上昇の影響による消費マインドの停滞に加えて、香港の子会社で連結会計期間中に春節が含まれないこともあり、通期の売上高は若干の増加程度に留まるものと想定しております。

一方、損益面では、カカオを中心とした原材料価格の大幅な上昇が継続することに加え、働き手不足がさらに深刻化することにより、物流コストの増加や人件費の上昇など、大幅なコストアップ要因が見込まれます。これに対して、さらなる生産性の向上に加え、価格改定や商品設計の見直しなどの原価低減対策を講じていきますが、コストアップ要因のすべてをカバーすることは困難であり、売上原価率の上昇や経費、人件費の増加を想定しております。

それらの影響も踏まえまして、売上高36,050百万円（前期比0.1%増）、営業利益1,020百万円（前期比50.5%減）、経常利益1,070百万円（前期比49.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益570百万円（前期比59.7%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在国内を中心に事業展開や資金調達を行っており、当面は日本基準を採用することとしております。

I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の事業展開や国内他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当連結会計年度 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,130,761	4,594,650
売掛金	6,726,775	6,892,429
有価証券	499,950	499,250
商品及び製品	2,144,975	2,372,148
仕掛品	338,301	336,922
原材料及び貯蔵品	497,382	486,545
その他	115,363	112,629
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	17,452,510	15,293,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,952,739	7,610,201
減価償却累計額	△5,642,370	△5,621,332
建物及び構築物(純額)	2,310,368	1,988,869
機械装置及び運搬具	7,307,027	7,271,013
減価償却累計額	△6,206,545	△6,166,214
機械装置及び運搬具(純額)	1,100,482	1,104,799
工具、器具及び備品	2,987,153	2,779,356
減価償却累計額	△2,635,129	△2,544,567
工具、器具及び備品(純額)	352,024	234,788
土地	3,644,738	3,644,738
リース資産	111,871	111,871
減価償却累計額	△47,020	△63,002
リース資産(純額)	64,850	48,868
建設仮勘定	125,601	82,320
有形固定資産合計	7,598,065	7,104,385
無形固定資産		
ソフトウェア	141,670	166,885
その他	49,834	52,636
無形固定資産合計	191,505	219,522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,496,133	1,274,819
退職給付に係る資産	277,639	764,711
その他	903,891	936,499
貸倒引当金	—	△2,500
投資その他の資産合計	2,677,664	2,973,529
固定資産合計	10,467,235	10,297,437
資産合計	27,919,745	25,591,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当連結会計年度 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,048,751	955,273
電子記録債務	2,185,384	529,098
短期借入金	1,590,000	1,510,000
未払法人税等	553,000	214,794
未払費用	1,075,832	1,119,876
賞与引当金	206,050	218,570
その他	874,728	864,655
流動負債合計	7,533,747	5,412,268
固定負債		
繰延税金負債	86,959	175,038
再評価に係る繰延税金負債	202,735	202,735
退職給付に係る負債	80,692	80,093
その他	295,745	237,629
固定負債合計	666,132	695,497
負債合計	8,199,880	6,107,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,922,552	3,924,810
利益剰余金	12,146,385	12,641,274
自己株式	△565,558	△1,364,417
株主資本合計	19,240,846	18,939,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	486,662	461,392
土地再評価差額金	290,138	290,138
為替換算調整勘定	86,331	107,985
退職給付に係る調整累計額	△384,115	△315,404
その他の包括利益累計額合計	479,017	544,112
純資産合計	19,719,864	19,483,248
負債純資産合計	27,919,745	25,591,013

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
売上高	34,933,847	36,017,735
売上原価	16,954,864	17,725,872
売上総利益	17,978,983	18,291,862
販売費及び一般管理費	15,504,590	16,233,066
営業利益	2,474,392	2,058,795
営業外収益		
受取配当金	32,286	30,771
売電収入	11,564	11,291
その他	28,491	27,598
営業外収益合計	72,341	69,661
営業外費用		
支払利息	23,450	23,151
売電費用	3,524	3,523
その他	1,994	3,563
営業外費用合計	28,969	30,238
経常利益	2,517,764	2,098,218
特別利益		
投資有価証券売却益	157,263	424,053
特別利益合計	157,263	424,053
特別損失		
固定資産除売却損	13,286	13,814
減損損失	37,962	287,360
解体撤去費用	—	86,802
その他	—	125
特別損失合計	51,248	388,103
税金等調整前当期純利益	2,623,779	2,134,169
法人税、住民税及び事業税	920,551	660,355
法人税等調整額	△12,461	58,826
法人税等合計	908,090	719,182
当期純利益	1,715,689	1,414,986
親会社株主に帰属する当期純利益	1,715,689	1,414,986

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
当期純利益	1,715,689	1,414,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,553	△25,269
為替換算調整勘定	44,361	21,653
退職給付に係る調整額	32,077	68,710
その他の包括利益合計	88,992	65,094
包括利益	1,804,681	1,480,081
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,804,681	1,480,081
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,737,467	3,918,352	10,688,523	△112,182	18,232,161
当期変動額					
自己株式の取得				△459,797	△459,797
自己株式の処分		4,199		6,421	10,620
連結範囲の変動			199,567		199,567
剰余金の配当			△457,395		△457,395
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,715,689		1,715,689
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,199	1,457,861	△453,376	1,008,684
当期末残高	3,737,467	3,922,552	12,146,385	△565,558	19,240,846

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	474,108	290,138	—	△416,193	348,054	18,580,216
当期変動額						
自己株式の取得						△459,797
自己株式の処分						10,620
連結範囲の変動						199,567
剰余金の配当						△457,395
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,715,689
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	12,553	—	86,331	32,077	130,963	130,963
当期変動額合計	12,553	—	86,331	32,077	130,963	1,139,648
当期末残高	486,662	290,138	86,331	△384,115	479,017	19,719,864

当連結会計年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,737,467	3,922,552	12,146,385	△565,558	19,240,846
当期変動額					
自己株式の取得				△808,268	△808,268
自己株式の処分		2,258		9,409	11,668
剰余金の配当			△920,096		△920,096
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,414,986		1,414,986
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2,258	494,889	△798,859	△301,710
当期末残高	3,737,467	3,924,810	12,641,274	△1,364,417	18,939,136

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	486,662	290,138	86,331	△384,115	479,017	19,719,864
当期変動額						
自己株式の取得						△808,268
自己株式の処分						11,668
剰余金の配当						△920,096
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,414,986
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△25,269	—	21,653	68,710	65,094	65,094
当期変動額合計	△25,269	—	21,653	68,710	65,094	△236,615
当期末残高	461,392	290,138	107,985	△315,404	544,112	19,483,248

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,623,779	2,134,169
減価償却費	727,739	774,065
減損損失	37,962	287,360
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,130	12,520
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,460	465
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	20,436	△389,158
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△500	2,500
支払利息	23,450	23,151
受取利息及び受取配当金	△32,286	△30,771
投資有価証券売却損益 (△は益)	△157,263	△424,053
固定資産除売却損益 (△は益)	13,286	13,814
売上債権の増減額 (△は増加)	△153,560	△160,996
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△265,559	△215,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	324,078	△1,754,122
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△89,431	51,999
その他	43,473	45,335
小計	3,095,937	371,136
利息及び配当金の受取額	32,236	30,152
利息の支払額	△23,943	△25,309
法人税等の支払額	△986,834	△994,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,117,394	△618,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△980,000	△2,490,000
定期預金の払戻による収入	980,000	1,980,000
有価証券の取得による支出	△999,912	△1,298,383
有価証券の売却及び償還による収入	999,952	1,299,563
有形及び無形固定資産の取得による支出	△607,208	△673,476
有形及び無形固定資産の売却による収入	18	—
資産除去債務の履行による支出	—	△26,536
投資有価証券の取得による支出	△3,984	△41,237
投資有価証券の売却による収入	175,309	660,320
貸付けによる支出	△2,400	△15,940
貸付金の回収による収入	1,004	3,290
敷金及び保証金の差入による支出	△9,399	△11,418
敷金及び保証金の回収による収入	9,072	10,047
その他の支出	△19,192	△18,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,741	△622,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	△80,000
リース債務の返済による支出	△15,659	△15,981
自己株式の純増減額 (△は増加)	△459,883	△810,306
配当金の支払額	△455,739	△916,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,011,282	△1,822,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,587	17,161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	685,958	△3,046,110
現金及び現金同等物の期首残高	5,647,290	6,640,761
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	307,512	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,640,761	3,594,650

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

報告セグメント	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
洋菓子製造販売事業計	33,057,407	34,039,794
(内訳)		
干菓子群	23,825,829	24,831,916
洋生菓子群	8,461,318	8,430,697
その他菓子群	770,259	777,180
喫茶・レストラン事業計	1,876,440	1,977,940
顧客との契約から生じる収益	34,933,847	36,017,735
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	34,933,847	36,017,735

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、チョコレート、焼菓子、チーズケーキ、プリンなどの洋菓子製造販売を主な事業内容とし、他に喫茶・レストラン事業を行っております。したがって、「洋菓子製造販売事業」と「喫茶・レストラン事業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するための検討対象としていないため、記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,057,407	1,876,440	34,933,847	—	34,933,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,057,407	1,876,440	34,933,847	—	34,933,847
セグメント利益又は損失(△)	3,745,719	△19,669	3,726,050	△1,251,657	2,474,392
その他の項目					
減価償却費	656,724	23,604	680,329	43,780	724,109

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,251,657千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 減価償却費の調整額43,780千円は、全社資産に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,039,794	1,977,940	36,017,735	—	36,017,735
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,039,794	1,977,940	36,017,735	—	36,017,735
セグメント利益又は損失(△)	3,398,482	△25,041	3,373,440	△1,314,644	2,058,795
その他の項目					
減価償却費	700,665	15,635	716,300	54,023	770,324

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,314,644千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 減価償却費の調整額54,023千円は、全社資産に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

(単位：千円)

	洋菓子製造販売事業	喫茶・レストラン事業	合計
減損損失	649	37,312	37,962

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

(単位：千円)

	洋菓子製造販売事業	喫茶・レストラン事業	合計
減損損失	287,360	—	287,360

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年2月1日 至 2025年1月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
1株当たり純資産額(円)	950.26	964.01
1株当たり当期純利益(円)	81.55	68.85

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 2025年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益および普通株式の期中平均株式数を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)	当連結会計年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,715,689	1,414,986
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,715,689	1,414,986
普通株式の期中平均株式数(株)	21,039,516	20,551,802

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

役員の異動につきましては、開示内容が定まった時点で開示いたします。

(2) 補足情報

販売実績

当連結会計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (クッキー) ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) ハッピーパーティ、ロイヤルタイム、サマーイング、サマーロイヤルタイム等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。